

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・概論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	第2校舎201
担 当 教 員	仲村 剛	実務経験と その関連資格	専科教員(平成20年～現在に至る)、認定実技審査員(平成29年:整復実技) 講道館柔道初段(平成24年)、鍼灸接骨院勤務(平成12年～平成26年:接骨院業務)			
《授業科目における学習内容》						
柔道整復学(総論・理論)を復習し理解を深めていく国家試験に出題された過去問題を使用しながら、学習方法を学び、基礎学力を向上させる。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 70 % 2. 出席点: 20 % 3. グループワーク中の態度・発表: 10 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 資料を作成し配布する プロジェクター、PC						
《授業外における学習方法》						
特になし						
《履修に当たっての留意点》						
わからない点があれば質問し、日々の復習をしっかりと行ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	社会人基礎知識、社会人マナーについて理解する		配布資料 プロジェクター、PC	講義の復習と予習をすること	
	各コマにおける授業予定	社会人基礎知識、社会人マナー				
第2回	授業を通じての到達目標	積極的に参加する		配布資料 プロジェクター、PC	講義の復習と予習をすること	
	各コマにおける授業予定	模擬試験の答え作り①(グループワーク)				
第3回	授業を通じての到達目標	積極的に参加する		配布資料 プロジェクター、PC	講義の復習と予習をすること	
	各コマにおける授業予定	模擬試験の答え作り②(グループワーク)				
第4回	授業を通じての到達目標	積極的に参加する		配布資料 プロジェクター、PC	講義の復習と予習をすること	
	各コマにおける授業予定	海外研修の概要、人体解剖映像(骨・筋・関節・皮膚・神経)				
第5回	授業を通じての到達目標	積極的に参加する		配布資料 プロジェクター、PC	講義の復習と予習をすること	
	各コマにおける授業予定	認定実技審査および国家試験の概要				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨・関節について理解する	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	骨・関節①		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨・関節について理解する	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	骨・関節②		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋肉の起始停止を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	筋肉の起始停止①		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋肉の起始停止を理解すること	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	筋肉の起始停止②		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認する	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	骨折(前腕骨骨幹部骨折)、特徴、定型的転位、後療法、後遺症、国家試験過去問題		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認する	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	骨折(前腕遠位端部骨折)、分類、特徴、定型的転位、後遺症、国家試験過去問題		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認する	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	国家試験過去問題、解答・解説①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	理解度を確認する	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	国家試験過去問題、解答・解説②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ 理解度の確認をし、各項目ごとが理解できている	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	講義の復習と予習をすること
		各コマにおける授業予定	総まとめ		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ 理解度の確認をし、各項目ごとが理解できている	柔道整復学・理論編第6版および柔道整復学・実技編第2版 配布資料	学生の理解度を確認する
		各コマにおける授業予定	総まとめ&後期講義総復習		